



なか むら ゆう き
仲村 佑記

生年月 1985年4月大阪府生まれ
最終学歴 2010年大阪大学大学院
工学研究科地球総合工学
専攻建築工学コース修了
業務経歴 2010年株式会社竹中工務店入社
現在、開発計画本部、
まちづくり戦略室（兼務）
●担当した主なプロジェクト
2011年～ 中之島のエリアマネジメント推進
2012年～ 龍谷大学 和顔館
2013年～ 九州大学（伊都）総合
研究棟他施設整備事業
（PFI事業）
2014年～ 読売テレビ新社屋
2019年～ 御堂筋空間再編への取り組み

■青年技術者のことば

私はこれまでエリアマネジメント活動等による①『エリア』での取り組みと、事業計画・用途企画支援等による②『建築』での取り組みの異なるスケールの取り組みに携わってきた。

①では、まちづくりの将来像策定やエリア防災の推進、公共空間再編検討等により『エリア』の不動産価値向上をはかり個々の『建築』開発を促すこと、

②では地元や周辺と連携した賑わい交流拠点形成の企画構築等により魅力的な『建築』をつくり『エリア』に波及効果をもたらすことで、『エリア』と『建築』相互の価値のスパイラルアップを目指してきた。

昨今、人々の暮らし方や働き方の変化、デジタル化が進み、エリアや建築に求められる機能や価値が複雑化・高度化し、他領域との協業による課題解決の必要性や、協業によるソリューション提供の高付加価値化の可能性を感じる場面が多々ある。自己の専門性の更なる深耕とともにコーディネート力を高め、他領域と積極的な協業により、新たな価値を創出し持続的に発展する『まちづくり』を実践していきたい。

■すいせん者

原田 裕
株式会社竹中工務店 開発計画本部
西日本4グループ長

①『エリア』の不動産価値を高める取り組み

中之島のエリアマネジメント推進/

一般社団法人中之島まちみらい協議会

- ・中之島のまちづくり構想策定
- ・エリア防災推進



写真提供 朝日新聞社

御堂筋の空間再編への取り組み/

一般社団法人御堂筋まちづくりネットワーク

- ・側道閉鎖後の空間像検討を主導
- ・将来像可視化の社会実験推進



②魅力的な『建築』をつくる取り組み

九州大学（伊都）総合研究棟（理学系）他施設整備事業

- ・PFI事業における代表企業の実務リーダーとして事業推進
- ・周辺施設や地元とシナジー効果を生む施設創り



読売テレビ新社屋

- ・OBP地区の新たな賑わい創出拠点創出



龍谷大学 和顔館

- ・大学と地域の交流拠点を形成

